

# 地域支援だより

東京都立町田の丘学園校長  
茂木裕之  
相談支援部

第3号 令和元年12月9日発行

## ホーム&アウェイ～交流及び共同学習の充実に向けて～

スポーツの秋、いろいろなスポーツイベントが目白押しです。自国開催となった2019ラグビーワールドカップの盛り上がりは、記憶に新しいところです。大フィーバーの原動力は選手たちの大活躍があったことはもちろんですが、「ホーム」の日本開催ということで、日本全体での応援や運営・おもてなしのすばらしさが大きな話題となりました。

交流学习のうち、学校間交流は町田の丘学園に来ていただいて交流することが多く、いうなれば「ホーム」での交流です。自分たちのよく知っている教室を使って発表したりゲームをしたりするので、お客さんを迎える緊張感がありますが、自分たちのペースで進められます。



半面、副籍交流は毎日過ごしているのとは違う、小中学校へ出掛けて行って活動することになるので、「アウェイ」の環境です。学校へ到着するまでの行き方もそうですし、交流が始まるまでの待ち時間もありません。副籍交流は子供たちがそれぞれ地域の学校に個別に日程を相談して出掛けていくので、いつも一緒に活動している友達もいません。アウェイの試合というより、サッカーでいうと「単身ヨーロッパのチームと契約して乗り込んでいく」という気分なのかもしれません。そのため、いつもと同じ力を発揮できているのかと、気になっていました。

そこで今年度は、町田市教育委員会に御協力をいただいて、**副籍校の先生方に町田の丘学園の学校見学に来ていただき、「ホームでの生き生きとした活躍ぶり」を見ていただく**試みを行いました。お忙しい中にもかかわらず、何人もの担任の先生方に御来校いただきました。いつもの教室で仲のいい友達と一緒に、副籍学級での姿と違う、自信にあふれた姿を見ていただけたのではないかと思います。



また、山崎校舎の学校公開の翌週には、PTA交流保護者会がありました。こちらには近隣の学校（小学校から高校まで）のPTAの皆さんをお招きし、地域作業所で作っている人気のお菓子や町田の丘学園作業班のマドレーヌなどをいただきながら、町田の丘学園の子供たちのことや社会で一緒に暮らしていくために必要なことなどを語り合いました。学校見学の際には、「是非、元気に活動しているうちの子の姿を見てくださいな」と御紹介する本校PTAのお母さん方が多くいらっしゃいました。

いろいろな取組を通して、共生社会に向けた協力サポーターが、次々と増大中です。

# 交流及び共同学習＜学校間交流＞

今年度本校の交流校は、七国山小学校、鶴川第三小学校、金井中学校、野津田高等学校です。七国山小学校との交流は、今年5年目になりました。1学期の理解推進授業の後、七国山小学校の4年生は、交流するグループの友達からお手紙が届きました（下図1）。

町田の丘学園では、自分の名前が入った手紙を、各学級の事前学習で紹介しています。温かい内容のメッセージがうれしく、授業参観や学校公開の機会に校内に掲示しました。御覧いただけただけでしょうか。

9月25日に、七国山小学校4年生約120名と町田の丘学園AB両部門の小学部130名が、山崎校舎で交流しました。プレイルームでの全体交流では、七国山小学校から「ソーラン節」の発表がありました。ダイナミックで迫力のあるソーラン節の響きを感じ、リズムによって体を動かし出す町田の丘学園の児童もいて、みんなとても喜んでいました（下図2）。



下図1



下図2

前半の全体交流の様子  
A部門の小学部とB部門小学部4年生から6年生が  
最初に全体交流を行いました。

グループ交流は、各教室に分かれて、七国山小学校の進行で行われました。グループ交流の様子を振り返って参加した担任からの言葉を紹介します。

視覚的に分かりやすいクイズをしてくれたところが良かったです。児童が応えやすい工夫がうれしく、一緒に楽しめるような活動を準備してくれてありがたかったです。七国山小の児童が主体的に会を進めてくれ、「町田の丘ファースト」の様子に感心しました。理解推進授業で伝えた「配慮や工夫」特に「ルールの説明や、視覚支援」を、子供たちなりに考えてくれたことがよく分かりました。七国山小学校の児童が時間配分を考えてくれたり、活動の中で、どのように支援したらいいか考えてきてくれたりしたことに感動しました。5年目の交流で積み上げてきた関係からでしょうか。うれしいです。

# ボッチャがみんなで楽しめる国民的スポーツに！

皆さんは「ボッチャ」という競技を知っていますか？  
脳性まひなどにより、運動能力に障害がある競技者向けにヨーロッパで考案されたスポーツです。特筆すべきは何手も先を読む必要のある戦略性と針の穴を通すような正確性を要求される投球です。冬季オリンピックの人気種目であるカーリングのようなおもしろさがあります。本校の肢体不自由教育部門でも以前から熱心に取り組まれており、昼休みになると給食を急いで食べた生徒が、練習にいそしむ様子も見られます。



パラリンピックの正式種目になっているので、2020年のオリンピック、パラリンピックに向けて一般にも知名度が高まっています。町田市の小中学校にオリパラ企画等で選手が訪問指導する機会も増え、それを機にボッチャの器具一式を購入する学校も出てきました（正式なものは結構高いのです）。障がいのある人だけではなく、健常の人と一緒に競い合い楽しめるスポーツとして認知されてきているようです。

先日も副籍で小学校に行った肢体不自由のお子さんが、4チームに分かれたチームの一員としてボッチャ競技に参加しました。自分の番が来ると滑り台のような道具を使ってボールを転がし、いい場所にボールが出ると周囲から歓声が上がリ、とてもうれしそうだったそうです。以下はお母さんからの感想です。

「障がいがあっても一緒に楽しめるスポーツがあるんだということに気付いてもらい、また待つことでできることがあるんだと理解してもらえた」「子供たちと同じスポーツができてよかった」「最後挨拶をする声を出すまで待つてくれる場面があり、みんな静かにしーっと待っていてくれたことに感動しました」

## ●本人講座（サタデー講座）でのボッチャ

今年も町田の丘学園の卒業生など、障がいのある方が土曜日に町田の丘学園に来て、スポーツをしたり創作活動をしたりして楽しく休みを過ごす本人講座（サタデー講座）が10月からスタートしました。第一回で自己紹介をした後の交流活動はやっぱり「ボッチャ」。一度に2回ずつボールを投げて床に書かれた高得点を狙う「町田ルール」で楽しみました。

## ●A部門の高等部でのボッチャ

毎年、野津田高校の生徒代表と本校の生徒代表で実行委員会を作り、ボッチャフェスタとして企画し、近隣の施設の方々と交流を図っています。今年は台風のため中止となり、とても残念です。

## 様々な交流行事

町田の丘学園では年間を通して毎年多くのスポーツや交流行事に取り組んでいます。交流教育連絡会などで、障がい者との関わりのことをお聞きすると、こうした行事を通して接点を持ったことがあると、お話しして下さる方も多いです。

### 市肢交流会

町田の丘学園の肢体不自由教育部門の小中学生が、町田市小中の特別支援学級（肢体不自由固定）と交流します。名刺交換や交流ゲーム（ボッチャです）などを行って交流を深めます。

### 町田市立中学校・特別支援学級との交流会

### 市内支援学級マラソン大会

町田の丘学園の知的障害教育部門の中学生と町田市中学校の特別支援学級（知的障害固定）と交流します。交流会は各学校の趣向を凝らした学校発表が特徴です。

### 肢体不自由教育部門スポーツ部「パワーズ」

卒業生や地域の方々との交流もあります。

### 東京都障害者スポーツ大会

### 特体連キックベース大会

### ボッチャフェスタ

スポーツを通して、たくさんの人たちと交流を持ちます。

### 肢体不自由教育部門高等部グループ地域施設交流会

### 知的障害教育部門 野津田高校福祉課生徒との作業学習交流

### 部活（運動部・文化部）の大会・発表会



**学校間交流** 町田市の特別支援学級のない学校が2年ごとに順番に交流します。

**副籍交流** 居住地の小中通常学級に副籍を置き、直接的・間接的な交流をします。

\*:.。..。..。oo\*:.。..。..。oo\*特別支援に関する御相談は、お気軽にどうぞ\*:.。..。..。oo\*:.。..。..。oo\*

東京都立町田の丘学園相談室(地域・進路コーディネーター)

#### ○本校舎



旭岡 善介（ひのおか ぜんすけ）	地域コーディネーター
森山 知也（もりやま ともや）	進路コーディネーター
菊地 まゆみ（きくち まゆみ）	進路コーディネーター

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2003  
電話 042-737-0570 FAX 042-737-0580

#### ○山崎校舎



川邊 千春（かわべ ちはる）	地域コーディネーター
大澤 紘子（おおさわ ひろこ）	地域コーディネーター

〒195-0075 東京都町田市山崎 1-2-17  
電話 042-792-4260 FAX 042-792-4264